

荏原七福神

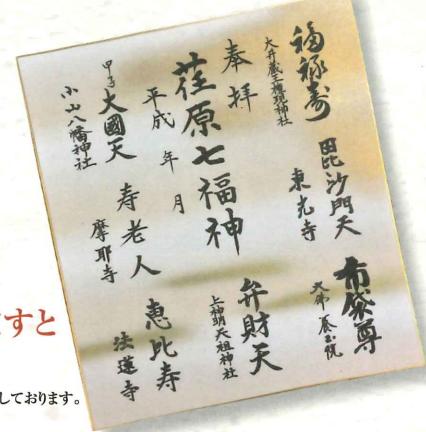


七福神めぐりは江戸時代、文化文政(1804~30年)の頃から各地で特に盛んになりました。

当時の人々は、元旦から七草までに詣れば、その年は七難を免れ七福を得られると信じ、近くの七福神を巡り歩きました。また、毎月七の日に詣るのも良いとされております。縁起を呼ぶお参りにお出かけになってみませんか。

荏原七福神の色紙を各寺社にて有料でお頒けしております。七福神すべてを巡りますと満願絵馬が頂けます。

※色紙は各寺社の社務所、寺務所等にて販売しております。
※満願絵馬は七社全部押印した所定の色紙一枚につき、一個差し上げます。



布袋尊 [福寿財宝]

帰命山養玉院・如來寺

によらいじ

大國天 [大願成就]

小山八幡神社

こやまはちまんじんじや



如來寺は、木喰但唱が高輪に創立したお寺で後に現在地に移転しました。養玉院は、上野寛永寺の塔頭三妙院が前身で開山として天海を迎えてますが、寺を創立したのは天海の弟子賢海です。瑞應殿には大井の大佛(おおいのおおぼとけ)といわれる5体の如來像が安置されています。

- 品川区西大井5-22-25
☎03-3771-4816
- 本殿右に七福神への坂道が続きます。
- 8月13日千燈供養会法要
9月彼岸中日 彼岸会法要

毘沙門天 [開運厄除] 久遠山 不動院・東光寺



開山は天文十三年(1544年)什仙上人により創建されました。参道の中程に「下の病氣」にならぬよう東司(トイレ)の守護の鳥瑟沙摩(うさま)大明王が祀られています。

- 品川区二葉1-14-16
☎03-3784-1613
- 門に入った右側には祠の中に『おまたぎ』があり、これを跨ぎお参りすると下の病氣にならないといわれています。
- 6月1日大施餓鬼会



建立年月日は不詳、社伝に鎌倉幕府の頃とあります。口伝では長元3年(1030年)には旧小山村本村の氏神としても崇敬されていたと云われています。小山の名の通り、区内随一の高台(標高35m)にて遠望良好、品川百景に選ばれています。

- 品川区荏原7-5-14
☎03-3783-0455
- 階段を上った神社の左に七福神の社があります。
- 例大祭
9月6・7日に近い土・日

寿老人 [延命長寿] 仏母山 摩耶寺



摩耶寺は山号を仏母山といい、寛文年間(1661-73年)の開山で、釈迦の生母・摩耶夫人像(品川区有形文化財)を祀る摩耶堂があります。摩耶堂は天保年間に造られたもので関東大震災や第二次世界大戦などからの災害からは免れました。

- 品川区荏原7-6-9
☎03-3785-5576
- 正月には甘酒が配られ休憩所があります。

福禄寿 [智惠財運]

大井藏王權現神社



江戸時代、町に火事や疫病が流行ったとき、この地域は大井村の權現神社の天狗のおかげで無事でした。その後、人々は天狗に感謝して權現神社のお祭りには太鼓を叩いたり、天狗を祀った神輿をかついだりしてきました。今ある、「大井權現太鼓」の発祥はその時の名残です。

- 品川区大井1-14-8
☎03-3771-5288
- 大井町から歩いて5分、立会道路に面しています。
- 例祭
4月第2土曜日と日曜日

恵比寿 [商売繁盛]

八幡山 法蓮寺



開山は鎌倉時代中期、日本が蒙古来襲の脅威にさらされていた文永年間(1265-75年)のことと伝えられ、八幡太郎義家の子孫というこの地の豪族荏原氏の館に創建された寺だったといふ伝えがあります。

- 品川区旗の台3-6-18
☎03-3781-4011
- 門を入って左側に小さな「恵比寿」様の祠があります。
- 10月16日お会式
- ※途中最寄駅 東急荏原町駅

荏原七福神

荏原の地名は古く万葉集に見られ、平安末期に小山八幡神社、權現神社が創建されたと伝えられます。鎌倉末期から室町時代に法蓮寺、天祖神社、東光寺が開かれ、江戸時代初めに養玉院、摩耶寺も設立されました。荏原七福神はこれらの由緒ある寺社に安置された格調高い七福神であります。
(荏原七福神会パンフレットより抜粋)

境内では参拝の気持ちを大切にしてマナーを守りましょう



弁財天 [富貴開運]

上神明天祖神社

江戸時代(正保年間・西暦1644年)頃にはすでに上、下神明に分かれていたとの史実に基づき、昭和五十八年に鎮座340年祭、平成五年には350年祭が執り行われ、平成十五年には鎮座360年奉祝大祭の記念行事が行われました。

- 品川区二葉4-4-12
☎03-3782-1711
- 本殿右に弁天社があり白蛇伝説の由来があります。
- 例大祭
9月15日に近い土・日